

## 対称スリットバスレフ テレスコ 3号機

前年の2号機に続き伸縮式の容積可変、上下左右対称スリットバスレフ「テレスコ」の3作目です。前作の二つの大きな問題点を対処して、またプロトタイプで実験した前後逆形状を実験します。

ユニットは断線修理したカーオーディオ用を使用します

### ＊＊2号機の問題点とその対策

1. 正面の縦横に対し奥行きが短くスリット長さが短く、スリット間隙が小さかった。  
→ 外箱、内箱を縦横奥行きほぼ同一のキューブ形状とし、小型だったプロトタイプと同様にした。

2. 板材の強度不足により目的の低音再生に問題を生じた。  
→ 2号機は12mm厚の合板、パーチクルボードだったが3号機は18mmパイン材、合板とし、内外箱の強化をした。

### ＊＊前後逆形状

ユニットの取り付けは前後ともサブバッフル式で交換可能とし、ユニットの無いほうはメクラ蓋で閉じる。

### ＊＊ユニット

ケンウッドのオーバル型コアキシャルのウーハー側断線故障品を修理してフルレンジ化したものをおきます。リファレンスに東京コーンF77、¥150ユニットも時間あれば試します。

今回のテレスコ3製作、ユニット修理記事詳細内容はブログ「おおたんの自作オーディオ・カイト・SVX」にあります

